



苫小牧警察署 交通安全情報No.23

令和7年11月5日

交通第一課

企画係

自転車安全指導通信第4号

自転車の指導取締りの基本的な考え方

令和7年9月に警察庁が公表した『自転車ルールブック』には、自転車の指導取締りの基本的な考え方が示されています。

- 警察が自転車の交通違反を認知した場合、基本的には **現場で指導警告** を実施します。
- ただし、違反自体(①)や、違反態様(②)が『**悪質・危険な違反**』であるときなどは検挙対象となります。

①違反自体が悪質・危険なもの

- 反則行為の中でも、重大な事故につながるおそれが高い違反
[検挙(青切符が交付され、反則金を納付すれば手続終了)]

(例)



警察庁ホームページ
「自転車ルールブック」



②違反態様が悪質・危険なもの

- 違反の結果、実際に交通への危険を生じさせたり、事故の危険が高まっているとき
[検挙(青切符が交付され、反則金を納付すれば手続終了)]

(例)



- 違反であることについて指導警告されているにもかかわらず、あえて違反を行ったとき
[検挙(青切符が交付され、反則金を納付すれば手続終了)]

(例)

